

科目名 (Eng)		社会科学調査法(Social Science Reserch Methods)							
担当教員		笠井 哲・吉村 忠晴・川崎 俊郎・木原 淳							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	備考
		一般科目 (工学系4科)	2	前期	必修	1	(30)	一般	C
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(A-3)．(A-4)．(D-2)．(D-3)．(F-2)．(F-3)．								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：4)．6)．								
授業の概要と方針		社会科学分野を中心に自ら調査・分析・報告・発表に必要な技能を教授する。							
到達目標		①レポート・論文の作成に必要な論理的思考、論理の展開を理解できるようになる ②文献やデータの検索・収集とその要約が自分で行えるようになる ③データ解析の技能を身につける ④調査した内容をレポートにまとめられるようになる ⑤調査した内容を第3者に発表できるようになる							
授業計画									
	週	授業項目		理解すべき内容			準備学習		
前期	1	ノートを作る、論文を読む		与えられた論文を読む、ミニ研究の準備			①授業進行表に記録をつける ②配布されたプリントを授業順に整理する		
	2	論文の要約を行う		論文構成の理解、論文の要約					
	3	論理の展開をするとは何か		論理展開の型、わかりやすく説明する方法					
	4	論文・資料の検索		論文を調べる目的、検索の手順、インターネット検索					
	5	問題解決の思考方法1		問題解決とは何か 論理的思考方法					
	6	問題解決の思考方法2		相関関係 因果関係					
	7	統計データの利用1		統計データを利用する目的					
	8	統計データの利用2		統計データを入手する方法					
	9	統計データの利用3		統計データを利用する方法					
	10	レポートの叙述1		テーマの決め方、レポート・論文の構成					
	11	レポートの叙述2		レポート・論文で用いる叙述					
	12	レポートの叙述3		事実・引用・意見の区別、客観的根拠を示した意見					
	13	プレゼンテーション1		プレゼンテーションの目的、プレゼンテーションの方法					
	14	プレゼンテーション2		プレゼンテーション資料の作成、発表のやり方					
	15	プレゼンテーション3		全体のまとめ、ミニ研究の中間報告					
試験について		前期中間試験および前期期末試験は実施しない。							
評価方法		レポートや課題の成績を100%として評価する							
教科書		配布プリントを教科書の代わりとする。							
参考書		『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』菊田千春、北林利治共著、東洋経済新報社 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』石坂春秋著、くろしお出版 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』学習技術研究会編著、くろしお出版							
関連科目		人文・社会科学演習A、人文・社会科学演習B							
履修上の注意		授業は配布プリントを中心に進めるので、必ずファイルすること。また課題・レポートは期限、様式など指示されたことを厳守すること。							